令和８年度

要　望　書

提出日：令和８年１０月９日

苫小牧市老人クラブ連合会

要　望　事　項

令和８年度苫小牧市老人クラブ連合会の要望は、下記の４項目でございます。

記

１．高齢者食堂・シニア食堂（仮称）の実施
２．指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の設置拡大について
３．健康増進に向けたウォーキングポイント制度（仮称）の新設について
４．老人クラブ運営補助金制度の見直しについて

要望事項の内容につきましては、次頁から項目ごとに記載しております。

１．高齢者食堂・シニア食堂（仮称）の実施

高齢者が地域の中で安心して集い、交流できる場を確保することは、孤立防止や見守りの面からも大変重要です。

昨年度から継続して要望しております高齢者食堂につきましては、高齢者の居場所づくりと支え合いの場として意義が大きいと考えられるため、昨年度に御回答いただいている調査の実施と市として継続的な実施に向けた支援について御検討していただきますよう要望いたします。

２．指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の設置拡大について

近年の気温上昇に伴い、熱中症対策は高齢者の健康と生命を守るうえで極めて重要となっています。特に、健康づくりのためにウォーキング等を行う高齢者が、外出時にこまめに涼み休憩できる場所の確保が必要です。

苫小牧市におけるクーリングシェルターの設置は一定の水準にあるものの、同規模自治体と比較すると、なお拡充の余地があります。公共施設に加え、スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストア、医療機関、薬局、地域商店等の民間施設とも連携し、設置箇所の拡大を進めていただきますよう要望いたします。

併せて、高齢者に分かりやすい案内表示や周知の充実を図るとともに、利用実態の把握と効果検証を行い、より利用しやすい制度として整備していただきますようお願いいたします。

３．健康増進に向けたウォーキングポイント制度（仮称）の新設について

健康寿命の延伸と介護予防を進めるためには、高齢者が日常的に無理なく運動を続けられる仕組みづくりが重要です。

これまで健康づくりの励みとなっていたウォーキングによるとまチョップポイント制度が終了したことは、高齢者の運動習慣の継続という面で大きな影響があるものと考えます。

万歩計等を活用し、自らの活動量を確認しながら意欲的に取り組める制度は、健康維持・増進に有効であることから、ウォーキングポイント制度（仮称）の新設について検討していただくよう要望いたします。

４．老人クラブ運営補助金制度の見直しについて

老人クラブにおいては、会員数の減少に加え、物価高騰の影響により、活動や運営の継続が年々厳しさを増しています。

現行の補助金制度における会員数に応じた区分では、区分間の増額幅が小さく、実情に見合った支援となっていない面があります。

老人クラブ活動は、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、地域の見守りや支え合いにもつながる重要な活動であることから、補助金制度のあり方を見直し、実情に即した増額について検討していただきますよう要望いたします。